

1. 事業の成果

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、8月2日から9月30日に延長して緊急事態宣言が出て、さらに、1月26日から3月6日まで、まん延防止等重点措置が出されました。介護事業については、事業継続していくことが必要とされていたので、各事業所ともに、介護の必要な方の支援に努め、消毒の徹底、健康管理、密接を避けながら、定期的なPCR検査をおこないながら、事業を継続しました。

- ① 葉山デイホーム：今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響により行事、イベントが中止になりました。ご本人の状態に合わせた個別の機能訓練や脳トレ、制作活動、レクリエーションなどを工夫し、楽しんでご利用いただくことができました。3月7日から10日まで、コロナ感染拡大防止のため、休業し、保健所から指導をしていただきながら、感染対応をおこないました。
- ② あい愛クラブ：感染状況に応じて、感染対策を職員全員で行うことができました。濃厚接触者の勤務調整をおこない、業務を継続できるように努めました。ご本人のより良いケアのため、ご家族との連絡を密におこないました。災害や感染対策に必要な物の補充も行いました。11月よりとくし丸（移動スパー）が週2回来てくださるようになり、ご利用者様の買い物ができ、地域の方との交流の機会にもなっています。9月よりノルディックウォーク講習会を月1回開催、感染拡大防止のため、不定期になっていますが、利用者様のレクリエーションに取り入れ、歩行支援の取り組みを行っています。
- ③ サルビアホーム：今年度も変異を繰り返す新型コロナウイルスの脅威は収まらず、事業所としての活動が制限される一年となりました。感染対策を強化して取り組み、幸い利用者様や職員において新型コロナウイルス感染者が発生することはありませんでした。今年度より、つかだファミリークリニックと連携し訪問診療を利用させていただく方も増えて、利用者様の健康管理等に寄与しました。登録者数が平均的に上がっております。また加算の算定要件を満たし新たな加算を令和4年度より算定できるようになりました。引き続き地域密着型の事業所としての活動を模索していきたいと考えます。
- ④ あい愛ケアプラン：2021年度も、引き続き「コロナ禍」で「感染しない・させない」を心がけて支援をおこなってきました。成田市「ケアプラン点検」があり、日ごろのケアプラン作成を見直す良い機会となりました、過去の延長線上のケアマネジメントの手法を踏襲するばかりでは行き詰ります。また、「特定事業所加算Ⅱ」の算定要件となる実習生の受け入れを行い、指導者としての自覚を持って取り組むことができました。
- ⑤ あい愛葉山ケアプラン：今年度は、緊急事態宣言から始まり、ご利用者様、ご家族様の外出中心の介護サービスの利用自粛や施設方針等により、介護サービスの利用控えが起きました。居宅ケアマネとしては自身が感染源とならないように体調を整え、ご利用者様・ご家族様の意向を確認しながら、訪問を行ってきました。このような時こそ、ご利用者様の在宅生活が安全に穏やかに過ごされることが大切なことだと感じました。それぞれの意向を尊重して、適切な介護、医療、福祉サービスを取り入れた支援に努めてきました。
- ⑥ あい愛ホームヘルプ：ご利用者及びご家族様に寄り添った介護ができました。他事業所からの依頼も多くいただきました。
- ⑦ ころあいホーム：コロナ禍において家族会や面会が叶わず、施設内のレクリエーションでの散歩や体操、ホーム内でのご利用者様の様子を写真や電話連絡でご家族様にお伝えいたしました。ご利用者様に食で季節を感じていただくなど、ホーム内でできることを職員でアイデアを出し合い、おやつレクリエーションやクリスマス会等を楽しんでいただきました。医療機関や訪問看護と連携して、ワクチン接種を含め健康管理、感染対策に努めました。
- ⑧ 地域支えあい体制事業の一環として、月1回認知症カフェをとみさと・葉山でそれぞれ実施してきました。

が、緊急事態宣言、まん延防止等措置を受けて、感染防止に配慮しながらの開催でした。開催は、富里市福祉センターでは10回（2月・3月休み）、こころあいホームでは、ウッドデッキで1回（11月）実施しました。他に、新たに、感染を防止し、三密を避けて行うことができる事業として、富里市及び成田リハビリテーション病院の協力を得て、福祉センターで「歩いて見守り活動」を4月より月1回開催しています。

⑨ホームページを随時更新し、情報の発信をしました。

⑩職員の質の向上を図るため、全体研修を予定していましたが、感染拡大防止の観点から、人数を減らして、7月に1回全体研修を実施しました。各事業所間の連携をはかるため、管理者・理事ミーティングをズーム開催しています。

⑪施設内での感染拡大防止のため、6月、7月に成田市・富里市・千葉県の支援でPCR検査を実施、9月よりは日本財団の支援でPCR検査を毎月、まん延時は隔週に実施しました。介護支援の充実のため、こころあいホーム、サルビアホームにポータブル発電機の導入、葉山デイサービスで介護浴槽の交換、サルビアホームに介護ロボットを導入（ベッド上のセンサー）あい愛クラブに見守りカメラを導入しました。

### 1. 事業の実施に関する事項

（特定非営利活動に係る事業）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	対象者の範囲
通所介護事業	高齢者のデイホーム	日曜日以外 12/30～1/3休	葉山	13名	39名
訪問介護事業	ヘルパー派遣 高齢者・障がい者・子育て支援	12/30～1/3休	利用者宅	14名	64名
居宅介護支援事業	計画作成/相談支援	日曜日以外	三里塚	5名	110名
特定相談支援	計画作成	12/30～1/3休	葉山	2名	51名
グループホーム事業	認知症ケア	毎日	葉山	11名	9名
小規模多機能型居宅介護事業	多機能サービス	毎日	三里塚 葉山	15名 14名	18名 21名
その他本会の目的	音楽会	11月	実施せず		ご利用者、家族、ボランティア
達成のための事業	広報の発行	年1回	1月発行		
	認知症カフェ	第3水曜日 第4月曜日	富里 富里	3名 3名	10回/97名 1回/14名
	歩いて見守り	第1水曜日	富里	3名	10回/78名
	職員研修	7月	成田	23名	